

【総合的な学習の時間】 No.6 未来を設計する力

一人暮らしのシミュレーション

ねらい

- ◆ 18歳で一人暮らしを始める設定をイメージして、お金と人生と自分の関係を考える。
- ◆ 勤労の意義や仕事への関心を高める。



3つの力のうちの【未来を設計する力】

リテラシー

- プレゼンテーション ■ ロールプレイング ■ シミュレーション

授業の流れ

一人暮らしのシミュレーション

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	○生まれて今(14歳)までかかったお金はいくらぐらいか想像する	●ワークシート1 「生まれて今まで君の命をはぐくんだお金はいくらぐらいだろうか考えてみよう」	★出産や生活のためにどんな費用や項目が考えられるか、注目させる
20分	○18歳で一人暮らしをすると1ヶ月の生活費はいくらかかるか想像する (支出を考える) シミュレーション ○収入を得るにはどんな方法があるか。いくらぐらいになるかを考える (収入を考える) ○収入に照らし合わせて、支出をもう一度考える	●ワークシート2 「一人暮らしをしていくためには、いったいどれくらいのお金がかかるだろうか？」 ●「18歳でどれくらいの収入が得られるのだろうか」 ●「参考資料の高卒の初任給をもとに、もう一度支出を考えてみよう」	★資料を使って説明する
10分	○18歳のとき、自分が何をしているか想像し、どんな生活をしているかを考える 個人で考える ↓ グループで交流する	●「自分がどんな18歳の生活をしているか、想像して書いてみよう」 ●特にお金の出入りに着目させる	★進学・就職・アルバイト(フリーター)などのことが予想される ★ニートについてもふれる
10分	○ゲストティーチャーの話を聞く ○一人暮らしのシミュレーションで、考えたことや授業の感想を書く		

準備

- ◆ ワークシート
- ◆ 「私の命をはぐくんだお金はいくら？」をまとめた資料
- ◆ 電卓

ゲスト

- ◆ 18歳の学生、一人暮らしのゲスト、フリーター等

板書の例

一人暮らしのシミュレーション

あなたが考える金額

住居費
食費
光熱水道費
交通通信費
・
・
・

1ヶ月の収入

予想 円

実際 円

参考資料

参考資料

◎事前にしておきたい授業

- ・ 「わたしの命をはぐくんだお金はいくら？」
私たちが生まれてここまで大きくなるのに、いったいどれくらいのお金がかかったのかを資料をもとに計算して求める。具体的な金額を知り、親などまわりにいる人の存在に思いがおよぶように声掛けをする。

◎資料データベース

- ・ 高卒の初任給 154,400円：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」18年度版
- ・ 統計局ホームページより <http://www.stat.go.jp/data/nenkan/19.htm>

一人暮らしのシミュレーション

① わたしたちが生まれて、ここまで(14歳)大きくなるのに、いったいどれくらいのお金がかかったのだろう？

予想 円 実際 (円)

② あなたは現在18歳。春からは、今までずっと夢に見ていた一人暮らしです。一人暮らしをしていくためには、いったいどれくらいお金がかかるんだろう？

<ステップ1> 支出

一人暮らしには、1ヶ月に最低どれくらいのお金が必要か、考えてみよう。

自分が一人暮らしをするときに、各費用にどれくらいのお金をかけるのかを書いてみよう。

	A あなたが考える金額	B 再度考えた金額
①住居費		
②食費		
③光熱水道費		
④交通通信費		
⑤家具・家事用品費		
⑥被服履物費		
⑦保健医療費		
⑧教養娯楽費		
⑨その他		
⑩税金		
⑪社会保険		
⑫預貯金		
合 計		

【総合的な学習の時間】 No.7 人とつながる力・未来を設計する力

携帯電話と付き合い方

ねらい

- ◆ 携帯電話の使用で困った状況になったとき、どうしたらいいのか、問題解決の手法について考える。
- ◆ 携帯電話を活用した正しい情報の選び方や使い方を理解する。



3つの力のうちの【人とつながる力】【未来を設計する力】

リテラシー

- プレゼンテーション ■ ロールプレイング ■ シミュレーション

授業の流れ

携帯電話と付き合い方

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪府内の中学校3年生の携帯電話の所持率について考える ○携帯電話のメリット、デメリットについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ●「大阪の中学校3年生は、どのくらいの割合で、携帯電話を持っているでしょう」 ●「携帯電話のメリットとデメリットについて考えてみましょう」 	<ul style="list-style-type: none"> ★「携帯・ネット上のいじめ等生徒指導上の課題に関するとりまとめと提言」参照
30分	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯電話で困ることについて考える ○携帯電話のトラブルのロールプレイからどうするか考える <ul style="list-style-type: none"> 個人で考える ↓ グループで交流する ○解決の方法を考える <ul style="list-style-type: none"> 個人で考える ↓ グループで交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ●メールのやりとりで起こりうるトラブル例を挙げ、考察させる ●ロールプレイングをもとに考えさせる ●登場人物の関係性を図に書いてみる ●解決に向けてどんなことができるのか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ★迷惑メール・架空請求の例を示し、犯罪につながることを知る ★代表の生徒がロールプレイングする ★関連図はペンの色を変えてもよい ★解決に向け、様々な立場から考察を深める
15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーの話を聞く ○携帯電話の使い方について考えたことについて意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●意見を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ★専門的な方をゲストティーチャーに招くなど工夫するとよい

準備

- ◆ ワークシート
- ◆ 「3の③」の資料：迷惑メール、架空請求の事例

ゲスト

- ◆ 携帯電話会社の社員等

板書の例

携帯電話と付き合う方法

携帯電話の中学校3年生の所持率は？

 %

携帯電話のメリット、デメリット

メリット	デメリット

携帯活用で困ること

登場人物の関係図

参考資料

- 「ケータイ世界の子どもたち」 藤川大祐 著 株式会社講談社
- 中学校3年生の携帯電話の所持率 68.0%
「携帯・ネット上のいじめ等生徒指導上の課題に関するとりまとめと提言」より
(携帯・ネット上のいじめ等課題対策検討会議資料 平成20年12月)

携帯電話と付き合い方

1 携帯電話について、大阪府の中学校3年生はどのくらい所持しているか考えよう。

中学校3年生の所持率

 %

2 携帯電話のメリットとデメリットを考えよう。

メリット	デメリット

3 携帯電話は便利なところが多い反面、使い方によっては、困ったことが起こることもある。次の項目について考えてみよう。

	項 目	あなたの考え
①	中学生が携帯電話を契約するとき、親の承諾が必要とされていますか。	
②	携帯電話で困ったことが起こるとすれば、どんなことが考えられますか。 3つ考えてみよう。	
③	こんなメールが入りました。あなたならどうしますか。 ※4の資料を見てください	

4 携帯電話に関わるトラブルについて考えよう。

この話に出てくる人物の関係を図に書いてみよう。

親に頼んでやっと携帯電話を買ってもらったAさんは、さっそくBさんにメールを送った。Bさんからの返信メールが来て喜んでいると、そのあと同じクラスのCさんの名前で「あんたなんか大嫌い!」という内容のメールが届いた。そこで、次の日、AさんはCさんに「言いたいことがあったら直接いってね」と伝えたと、Cさんは、「わたしはメールした覚えがないよ!」と怒られてしまった。困ったAさんが先生に相談し、確認してもらったところ、Cさんは携帯電話を持っていなかった。家に帰ると、Cさんの名前で「チクっても無駄だよ!」というメールが送られてきていた。

5 この問題を解決するために「誰が何をしたらよいか」という視点でルールを考えよう。

生徒は
保護者は
学校は
携帯会社は

6 今日の授業の振り返り ~携帯電話と付き合う方法について考えたあなたの意見をまとめよう。
(150字以上200字以内で、結論、その理由・理由を支える事実や経験に基づいて記入する)

【総合的な学習の時間】 No.8 未来を設計する力・社会に参画する力

お店屋さんを出店しよう！

ねらい

- ◆ 店の出店計画を考える中で、集客力や、稼働率、経済価値について理解する。
- ◆ 地図から情報を取り出し、出店する条件を考察し、プレゼンテーションする。



3つの力のうちの【未来を設計する力】【社会に参画する力】

リテラシー

- プレゼンテーション ■ シミュレーション

お店屋さんを出店しよう！

授業の流れ

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○お店を出店する場所を考えよう ○どんなお店を出店するのかを考えよう <p>個人で考える</p> <p>ワークシートを読み、より多い集客ができるお店になるか、根拠とともに考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地図をじっくりながめさせて、いろいろな情報を読み取らせる <p>・この町のこと(年齢の分布・学校の有無)を伝える</p> <p>・駅の近くには大型スーパーがあること</p> <p>・お店の種類の例をあげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★地図は拡大し、黒板に貼っておく ★「ただひとつの正解を求めるのではなく、正解はたくさんあることを強調する」
40分	<ul style="list-style-type: none"> ○出店する場所を考えよう ○どんなお店を出店するのかを考えよう <p>グループで考える(交流)</p> <p>グループで最終出店場所を決めよう</p> <p>①最も集客できる出店場所とどんなお店にするのか根拠を考える</p> <p>②代表が発表</p> <p>○1日の売り上げを計算！</p> <p>ワークシートを使用し、ハンバーガー店の売り上げを例に計算する</p> <p>○お店の広告をつくらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●班の中で発表させる。意見を手際よく交換するために、司会者を決めるとよい ●教師から実際の企業のマーケティングはどの視点をもって、どの場所を選ぶのかを伝える <p>相手に分かりやすく納得・共感するように論理的に説明するように伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートの設問を予想させる <ol style="list-style-type: none"> 1) 最寄り駅に乗降客数を問い合わせ(教室から携帯電話) 2) 100人のうち何人入店? 3) 客1人が使用する金額 4) 1日の売り上げ <ul style="list-style-type: none"> ●タウン誌に掲載されることを前提にする 	<ul style="list-style-type: none"> ★企業の人を選ぶ視点 <p>人の動きを読むことが大切！</p> <ul style="list-style-type: none"> ★携帯電話を使い、授業が世の中とつながっていることを実感させる ★生徒に何%なのか予想させ、共有する ★授業後に全班のものを印刷して掲示するなどの工夫があるとさらに効果的である
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○お店屋さんを出店するためのポイントなど、この授業で考えたことについて意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●感想を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する <p>この授業の目的は正解を出すことなく、論理的に考えたことを相手に分かりやすく伝えること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★授業後、納得を深めるためにフィールドワークを行うこともできる

準備

- ◆ 地図（ワークシートの地図をB全版等に拡大したもの）
- ◆ タウン誌のコピー
- ◆ 最寄の駅の電話番号を調べておく
- ◆ 携帯電話

ゲスト

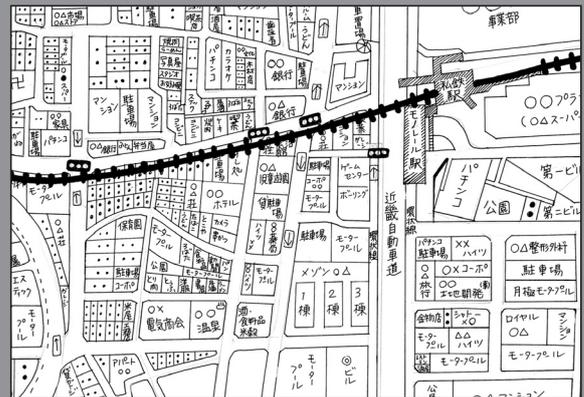
- ◆ ハンバーガー屋店長【連絡先 TEL 〇〇-〇〇-〇〇〇〇】
- ◆ ファーストフード、コンビニエンスストア、レストランの出店担当をされている保護者、地域の方等

板書の例

お店屋さんを出店しよう！

- ①稼働率
- ②夜間人口
- ③昼間人口
- ④乗降客数
- ⑤通行量

集客力 × 稼働率



地図を貼る

参考資料

- ・タウン誌など

【総合的な学習の時間】 No.9 未来を設計する力・社会に参画する力

職業の関連図をつくろう!

ねらい

- ◆ 就いてみたい職業や地域の産業、そこで働く人の思いを知ることを通して、自分にあった仕事に興味を抱く。
- ◆ コンテンツを活用して職業の適性を知ること、社会とのかかわりを前向きに考える態度をはぐくむ。



3つの力のうちの【未来を設計する力】【社会に参画する力】

リテラシー

■ シミュレーション

職業の関連図をつくろう!

授業の流れ

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のタイプ(適性)を知ろう 個人で考える パソコンを使い、自分の適性を考える手がかりとする グループで考える(交流) 友だちと結果について意見交流をする 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ上のコンテンツを有効に利用させて、いろいろな情報を導き出させる <p>タイプ、傾向、そのタイプに多い仕事の分野などを参考に将来の職業を考える適性を知手がかりとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★「どのタイプや傾向等が良いとか悪いとかでなく、多様な個性や違いがあってもよいことを周知する ★様々な個性があることの大切さを伝える
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○将来、就いてみたい仕事を考えよう ・ホームページ上のコンテンツを有効に活用し、興味、適性に合った職業を探し出す 	<ul style="list-style-type: none"> ●個性の数だけ職業があり、一人ひとりが社会とつながれることを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ★複数の職業を選ばせることにより多様な職業に就ける可能性を実感させる
20分	<ul style="list-style-type: none"> ○職業と職業のつながりを(関連)を見つけよう ・ワークシートに職業関連図を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコンを使い、教師の体験をもとに、職業関連図を例示する <p>画家を中心にしたら、デザイナー(車のデザイン、広告のデザインなど)、芸員、画材、絵の先生…など20種くらいはあることを伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★多くの職業が人々の支え合いによって成り立っていることに気付かせる(世の中の成り立ちの理解)
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲストティーチャーの話を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の産業や仕事の大切さを伝える ●地域の職業と「マップ」の中の他の職業との関連を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域社会の一員として生きることの大切さを実感させる
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○職業のつながりについて学習し、考えたことについて意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●感想記入後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する <p>この授業の目的は正解を出すことなく、論理的に考えたことを相手に分かりやすく伝えること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の夢や希望を実現するために多角的にアプローチする視野の必要性の理解 <p>丁寧な事前事後指導が必要</p>

準備

- ◆ パソコン教室でインターネットを使用できる環境を整備
- ◆ パワーポイントで教師の関連図を制作

ゲスト

- ◆ 地域の伝統産業従事者
- ◆ 地域の起業家等（本冊子 p171～参照）

参考資料

- ◆ 「13歳のハローワーク」公式ホームページ <http://www.13hw.com>

思い出からみるタイプ診断

30問の質問に答え診断する

診断結果からタイプがわかる

あなたのタイプを登録する

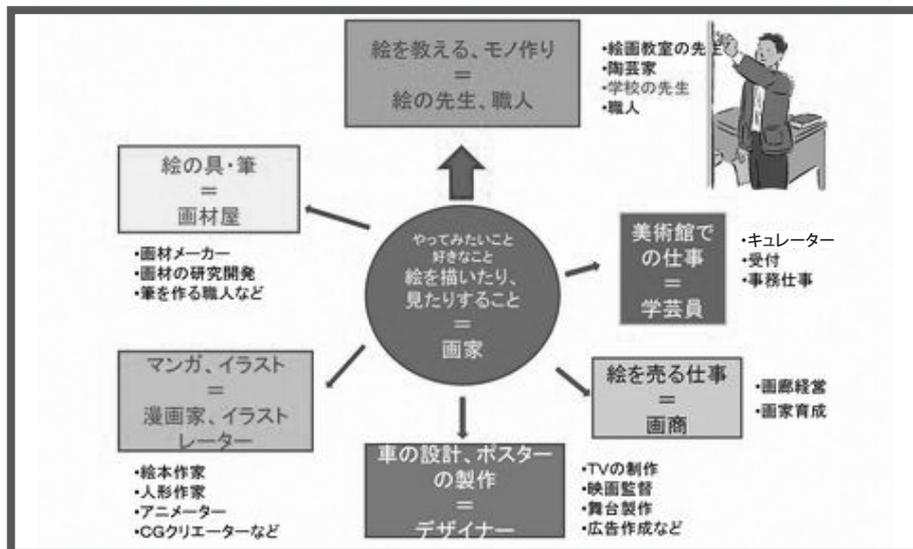
フォーラムでは事について聞いてみよう！

8つのタイプ

- ① 規律ある実行者
- ② 冷静な実力者
- ③ 明るい活動家
- ④ 世に尽す情熱家
- ⑤ 思いやりのリーダー
- ⑥ クリエイティブな努力家
- ⑦ 独創的な挑戦者
- ⑧ 真理の探究者

設問	Yes	No
問1) 放課後には、たくさんの友人と遊んでいた。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問2) そんなつもりはないのに、「怒ってるの？」と友達に言われたことがある。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問3) クロスワードパズルが好きだった。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問4) 文化祭などのイベントでは裏方をつとめるほうが好きだった。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問5) 「〇〇さん、どうですか？」と指名されるまで、自分の意見を言わないほうだった。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問6) 友達とケンカしても、自分が正しいと思うときにはあやまらなかった。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No
問7) 自分から仲間を声をかけて、遊んだり、運動したりすることが多かった。	<input type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No

- ◆ 指導者の職業関連図の例示



職業の関連図をつくろう!

1 自分のタイプを知ろう。

インターネット上のホームページを利用して(13歳のハローワーク)、自分の適性を知るきっかけにしよう。「13歳のハローワーク」公式ホームページ <http://www.13hw.com>

A あなたのタイプは 【 】

B このタイプの人の傾向は

- ・興味関心の方向 【 】
- ・物事のとらえ方 【 】
- ・結論の出し方 【 】

C このタイプの偉人は 【
【 】

D このタイプに多い仕事の分野 【
【 】
【 】

2 将来、就いてみたい職業を考えよう。

1の結果を参考に、自分のタイプに関係のある職業にはどのようなものがあるか探してみよう。

※ホームページ上のコンテンツ(「好き」で調べる、「職業名」で調べる、「分野」で調べる、「マップ」で調べる)を活用する

【総合的な学習の時間】 No.10 人とつながる力・未来を設計する力
・社会に参画する力

起業家に挑戦

ねらい

- ◆ 商品開発を通して、グループで協力して企画立案し、プレゼンテーションする。



3つの力の【人とつながる力】【未来を設計する力】【社会に参画する力】

リテラシー

- プレゼンテーション ■ ロールプレイング ■ シミュレーション

授業の流れ

起業家に挑戦

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○アイデア商品を企画するために、商品アイデアと売込みターゲットを考えよう <p>個人で考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●誰のどんなニーズに応えた商品にするかを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ★「正解はたくさんある」ことを強調する <p>人の購買意欲を 読むことが大切!</p>
40分	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな商品開発を進めたらよいか考えよう <p>グループで考える(交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他のメンバーの内容を聞いて、アイデアをグルーピングする ○グループでどんなアイデア商品にするのかを決める ○企画商品の特徴を考える <ol style="list-style-type: none"> ①キャッチフレーズやネーミング ②今まである商品との違い ③値段を決める ○企画商品のアピールをしよう <ol style="list-style-type: none"> ①広告を作成しよう ②発表していい商品を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふせんにたくさんのアイデアを書き出させる ●班の中で発表させる。意見を手際よく交換するために、司会者を決めるとよい ●企画商品のキャッチフレーズやネーミング、今まである商品とどこが違うのか、値段もどの視点をもって、どう選ぶのかを伝える ●アイデア商品の特徴を分かりやすくアピールする <p>全体に納得・共感するように分かりやすく論理的に説明するように伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★企業の人を選ぶ視点などを助言する ★企画商品の「売り」を考え、アピールする ★値段に「語呂」などをつけると効果的 ★起業家等のゲストティーチャーにコメントをもらえると効果的
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○商品開発で大事なことを考え、意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●感想を記入させた後、何人かの生徒の意見を聞き、交流する 	

準備

- ◆ ふせん
- ◆ 模造紙

ゲスト

- ◆ 地域の起業家等（本冊子 p171～参照）

板書の例

起業家に挑戦！

① アイデア商品を企画しよう

□□□□ をもっと □□□□ できたらいいなあ



もっと □□□□ できる □□□□

② 企画商品の特徴を考えよう

③ 企画商品をアピールしよう

付加価値

語 呂

企画広告の書き方



アイデア商品のなまえ: ○△■

会社

キャッチコピー

イラスト
(特徴のアピール)

ポイントや値段を
アピール!!

参考資料

【総合的な学習の時間】 No.11 未来を設計する力・社会に参画する力

市長になって住みよいまちをつくらう!

ねらい

- ◆ よりよいまちづくりを考えることにより、地域社会の一員としての自覚を高める。
- ◆ 日常生活から、市民としての社会的役割を考え、自己の生き方を考えることができる。



3つの力のうちの【未来を設計する力】【社会に参画する力】

リテラシー

- プレゼンテーション ■ ロールプレイング

市長になって住みよいまちをつくらう!

授業の流れ

	授業の流れ(生徒)	教師の支援(発問やことばがけ)	ポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の授業のねらいを知る <p>個人で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住みよいまちとはどんなまちか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ●「市長になり、住みよいまちにするためにマニフェストを作ってもらいます」 <p style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">自分が住んでいる地域の特徴を考えさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★正解は1つではなく、たくさんあることを伝える
35分	<ul style="list-style-type: none"> ○本年度と過年度の市の一般会計予算の資料を提示し、予算の変化に気付かせる <p>グループで考える(交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の重点施策を知り、それを実現させるための具体的方策を考え、ふせんに書き出す ○グループで共有し、税収を増やすための方法と合わせてマニフェストを作り、発表する ○市長から重点施策や今日の授業の感想などを聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ●予算資料を実物投影機で拡大して提示する <p style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">・市のホームページなどで資料を集める ・資料の数字が大きいため、分かりやすく億、千万などの単位を使うなど工夫をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大事にしたい市の重点施策はどれ? ●それを実現させるために税収を増やす必要があることも伝える <p style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">みんなが考える、住みよいまちするには、どのような政策をすればよいのか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の人たちの願いにより財政が変化していることに気付かせる <p style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">その当時の社会状況や市民の願いによって、税金の使い道が変わってくることをおさえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ★各グループ(班)に分かれて座り、アドバイザーとして教師が入る ★発表用にミニホワイトボード等を使用する ★実物投影機やスターボード等を用いて説明する ★市長が来られることは知らせないこと
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○マニフェスト作成をとおして、この授業で考えたことを意見にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●感想を記入させたあと、何人かの生徒の意見を聞き、交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域社会の一員として地域について関心をもつことの必要性の理解

準備

- ◆ 発表用ミニホワイトボード
- ◆ 実物投影機
- ◆ スターボード
- ◆ 市の予算資料

ゲスト

- ◆ 市長（連絡先：市役所）

板書の例

市長になって住みよいまちをつくろう

- ①住みよいまちとは、どんなまち？
- ②平成20年度・21年度 市一般会計予算を比較
- ③平成20年度の1人あたりの予算から
- ④マニフェスト作り

〇〇市重点施策	具体的方策	税収入を増やすために
△ _____	★ _____	□ _____
△ _____	★ _____	□ _____
- ⑤ビッグサプライズゲスト登場！
- ⑥振り返り

参考資料

市の広報誌、市のホームページ

市長になって住みよいまちをつくらう!

① 住みよいまちとはどんなまちか考えてみよう。

- () があるまちは住みよい
() ができるまちは住みよい

【理由】

② 市の重点施策の中から1つを選び、それを具体化するための方法を考えよう。
また、税収入を増やすための具体的な方法を考えよう。

① 選んだ施策 ()

② 施策を具体化するための方法

③ 税収入を増やすための方法
